

公表：令和 6年 9月 30日

事業所名 重症児デイサービスあいキッズ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	2	成長とともに歩けるようになった利用児もおり、活動の範囲が広がり利用児の年齢や人数により狭さを感じることもあるが、それぞれの利用児の特性をもとに職員で話し合い、なるべくゆとりをもって安全に過ごすことができるよう配慮します。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	4		職員の急な欠勤に関しては同法人内事業所の管理者同士で相談しヘルプ出来るような体制を整えています。学校や児童発達支援の帰り送迎などで一時的に手薄な時間があり安全に支援体制を整えられるよう今後も考慮していきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	3		動きが活発になり以前と比べ歩行できるようになった利用児もいるため、床で過ごす利用児とぶつかるなど怪我のないように職員の見守りや支援していきたいと思えます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	3		外から乗ってきた車いすのタイヤを拭いてじゅうたん敷きの活動室に入るため、タイヤを拭いてきれいにしてから入室するようにしています。歩いたり走るなど動きが活発な利用児にとって十分なスペースが確保されない場合もありますが、お散歩など利用児に合わせた活動内容を取り入れていきます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	3		
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1		新規利用児は自己評価結果をホームページで保護者がいつでも確認出来ることを知らない保護者がいる可能性もあり、継続してアナウンスしていきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1	1	自己評価表の結果をもとに事業所として足りないところを職員で話し合い支援に繋げていきます。結果は毎年度ホームページで公開しております。新規利用児は自己評価結果をいつでも確認出来ることをアナウンスしていきます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	5	1	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	2		勤務時間中のため参加できない研修会もあるので、法人主導の研修は、録画し後日配信するよう配慮されています。また法人外の外部研修に関しても各管理者から職員へ情報共有されています。
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9			個別支援計画に関しては保護者との面談後に必ずスタッフでケース会議を実施し評価や新たな目標設定を検討しております。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	2	アセスメントシートを用いて利用児それぞれの評価を実施しております。全スタッフで共有できるようにしていきます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9			今年度作成の個別支援計画から家族支援及び地域支援の項目を設け計画を作成しております。各ステージに沿って具体的な支援内容を示しております。

	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9			会議で個別のポイントを押さえ、個別支援計画に沿った日中活動計画を作成し支援にあたっております。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			1～2週間に1度、療育チームで週案会議をおこなっています。季節のイベントに関してはその都度会議を行い内容を検討しております。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1		当事業所の利用回数の多い利用児もいるため、週毎に同じ活動計画ではなく、様々な活動が経験できるよう毎日違う活動内容となるよう検討しています。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	1		日々の個別、集団の活動をモニタリングしながら各々の個別支援計画を作成しております。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1		必ず職員打ち合わせから始業開始をしています。全体ミーティングのあと、看護師や機能訓練士など職種毎に集まり、更に詳しいミーティングを行い、利用児の情報共有や相談、その日の流れを確認しています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	2	その日のうちに必ず振り返りをおこなうことはできていないが、翌日の打ち合わせで職員と情報共有をおこない統一した関りができるよう努めています。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			日中活動後、個別のモニタリングシートに状況を記録し会議にて検証改善を行っております。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9			日々の様子を記録し、状況に応じて計画の見直しを行うよう努めております。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	1		石狩市保育支援事業に関しては石狩市の障がい福祉課とともに事業を運営しております。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9			家庭の状況などで心配な児童に関して、地域の保健師と情報交換をしております。関係機関との情報交換は必要に応じて実施されております。今後も定期的に行ってまいります。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	2		どのような状況になったときにかかりつけ医への連絡が必要となるのか保護者からしっかりと聞き取りを行い、必要な場合は連絡体制をとれるよう連絡先の確認をしています。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	1	認定こども園と当事業所を併用している利用児もおり、保護者の希望に合わせてこども園に出向き見学をしたり支援者会議を通じて情報共有の機会を持っております。今後も継続しておこなってまいります。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1		特別支援学校の自立活動相談や支援者会議など積極的に参加し情報共有をしております。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	3		他の児童発達支援事業所の見学や必要に応じて相談支援事業所等、情報共有を行っております。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	6	2	コロナも感染症の5類に分類され状況も少しずつ変わってきているので、近隣の保育園と連絡を取りながら進めていきたいと考えています。

	②⑨ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	5	1	日々の運営でスタッフが抜けられないことも多く、会議などに積極的に参加できていない現状にあります。
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1		個別支援計画立案や更新に伴う面談だけでなく、送迎の際やイベントなどで保護者に会う機会には保護者の表情や話し方など悩みや疲労の蓄積はないか注意して観察し気になることはスタッフとも情報交換しながら関わっています。
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	5	1	
保護者への説明責任等	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			契約時に必ず管理者より説明させていただいております。
	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9			今年度作成の個別支援計画から家族支援及び地域支援の項目を設け計画を作成しております。各ステージに沿って具体的な支援内容を示しております。
	③⑭ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			医療的ケアに関することや成長に伴う様々な悩みは普段から保護者と話す機会をつくり、必要に応じて関係各所に繋ぐこともあります。それぞれの悩みに対しいつでも真摯に対応していきたいと考えております。
	③⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	3		昨年度、好評だった運動会を今年も開催予定で保護者同士や職員など交流ができるような機会を作ります。今後も継続的に実施できるよう、今年度の内容を振り返り、保護者のニーズも聞きながら交流の場を充実したものにしていきます。
	③⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			医療的ケアに関することや成長に伴う様々な悩みは普段から保護者と話す機会をつくり、必要に応じて関係各所に繋ぐこともあります。それぞれの悩みに対しいつでも真摯に対応していきたいと考えております。
	③⑰ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			おたよりを季節毎に発行しております。また、活動内容や法人の事業内容を知っていただくようSNSにて情報発信を行っております。
	③⑱ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	1		
	③⑲ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			
	④① 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9			今年度、石狩市で開催されたソルウェイズ祭りでは、地域住民にソルウェイズを活動を知っていただけるよう祭りの運営に参加いたしました。今後も積極的に参加していきたいと考えています。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	1		今年度は災害対策マニュアルの内容を更新しており、その内容をもとに訓練をおこなう予定です。訓練終了後には職員と内容を確認していきます。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	1		定期的に避難訓練を実施しております。訓練をより実際に近づけていくよう内容の検討をしていきます。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9			契約後、処方内容や予防接種の情報の聞き取りを必ず行っています。てんかん発作に対しては、発作の聞き取りをおこない必要な対応をしております。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	9				
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		7		2	事故報告に関しては毎月の職員会議の報告、重大な事故に関しては別途会議を実施し振り返りや対応策を検討しております。今後も継続して行っていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		9			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		6		3	身体拘束の対象者は現在いませんが対象となる利用児が契約となった場合は必要となる対応をしていきます。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。